

## II . 質問書の回答 - 抜粋

調査国の JICA 事務所・支所、日系団体、日本語学校を対象に質問書による事前調査を行なった。

全回答の中から、各事業の改善点および 3 事業連携に関する部分を以下に抜粋する。(なお、全回答は 56 頁以降に載せたので参照願う。)

### 1. 3 事業の現状および改善を要する点

#### (1) 日系研修 (日本語教師研修)

- ・日本語力が不足で、英語で研修できる受入先もない応募者が多い。個別研修を止めて重点分野で集団コースを設定して西・ポ語監理員を配置する
- ・日本語教師研修に必要な日本語能力は、2 世、3 世教師にとって高すぎる
- ・研修期間 3 ヶ月以上は長い。参加を数回可能にして段階的な向上を目指す
- ・日本語教師研修は、現地事情とかけ離れた高度な研修内容が見られる。カリキュラムを公開して日本側と現地在共同で到達目標を設定する
- ・ボリビアの教育レベルは低く教育の場が少ない。日本語学校を除いて、日本で研修した教育技法を活かす機会は少ない
- ・基礎 I、II の期間(6 ヶ月)は長い。学生(2 世、3 世)は長期間の研修は困難。大学生は進級が 1 年遅れる
- ・6 ヶ月は短すぎる
- ・立派な講師陣が指導して、基礎から応用へ段階的に進める研修なのだから、日本語教師の資格が取れるようにしてほしい
- ・参加者レベルに合わせた研修を希望

- ・学習者が成人か子供かによるコース分けを希望する
- ・幼少期の生徒に対する指導法の改善が必要。授業参観、実習を含む幼児教育の本邦研修を設置してほしい

( ・中学生研修は、期間を短縮しても良いから人数を増やしてほしい )

## ( 2 ) 日系社会ボランティア派遣

- ・ボランティアに対する依存心が強い
- ・ボランティアは権利主張の傾向が強い。現地の状況に合わせる度量がほしい
- ・日本と現地で事前の情報交換が不十分で、受入側の期待と業務内容や技術レベルが異なり、ボランティアの能力が活かされないことがある。
- ・現地側が、ボランティアの技術を吸収できる人材を用意できずに、技術が移転されない場合がある
- ・教育の特殊性を考えると、2年は短くて非効率
- ・シニアボランティアには校長・教頭経験者を希望
- ・青年ボランティアは、大学卒業直後でなく社会経験がある方が、現地での業務が円滑に進んで生活の適応も早い
- ・青年ボランティアには、日本文化の重要性を認識して、生徒達の模範となるように礼儀正しく活気にあふれ、楽しい授業をしてほしい
- ・シニアボランティアは現地で教師養成ができる能力のある人を望む
- ・青年ボランティアは、教師不足の現地には欠かせない存在

- ・ポルトガル語が分かれば子供達との融和がもっと生まれる
- ・言葉を勉強して来てもらえれば、現地の人々との親しさが増す
  
- ・本物の日本語を教えてほしい
  
- ・教師経験者に経験を活かしてもらいたい
  
- ・授業のやり方など技術的な指導を期待する
  
- ・現地での順応性、たくましさを求めたい
  
- ・新しい情報をもたらしてくれることを期待
  
- ・伴侶同伴の場合、奥さんも面接して派遣に適しているか確かめてほしい
  
- ・現地着任後に、受入側の要請とボランティアの専門性がずれていることが分かることがある
  
- ・幼稚園教師の経験がある青年ボランティアか幼児教育専門家の派遣を希望
  
- ・現地で教師養成講座を行えるように日本語教育専門家の派遣を希望する
  
- ・現行のブロック別のシニア派遣は、へき地校で大いに効果がある
  
- ・シニアが派遣されたところに青年ボランティアは来ない。シニアは地域の学校を対象に教育し、青年ボランティアは派遣された学校で授業を行なうことから、シニアの受入校では状況が不利である。青年ボランティアも必要なので再考をお願いする

### (3) 汎米日本語教師合同研修会

- ・各国内で行なう教師研修会と同じ内容やテーマが繰り返されて大した成果が見られない。実施体制や内容を見直すべき
- ・参加者のレベル差が顕著で研修に支障が出たのでグループ分けを提案した
- ・本邦派遣講師のテーマが、開催2カ国の要望に集中することを危惧する。講義のテーマ選択に配慮願いたい
- ・新学期が始まる2月以前の1月だと授業に穴をあけずに参加しやすい
- ・現地の休暇に合わせて開催を1月にしてほしい
- ・年毎に会場が変わるためにつぎの問題が生じる
  - 1) 教授内容の継続的かつ質的な向上が困難
  - 2) 日本の講師との内容決定が遅れ、事前に内容が参加者に伝わらない
  - 3) 運営のノウハウが生かされない
  - 4) 地元のボランティアの先生方とのつながりが切れる
  - 5) 改善されるべき課題が解決されずそのまま残る
- ・多数を対象に同一の研修を企画するため、以下の困難が生じる
  - 1) 基本的な事柄を吸収する力が不足する者がいる等、日本語能力にばらつきがある
  - 2) 参加者の教師経験、文法知識に関し、基礎的な知識を必要とする者と、基本は分かっており先に進みたい者もいる等、ばらつきがある
  - 3) 対象とする学習者に違いによって、研修内容を初級に求める者、中、上級に求める者がいて、ギャップが大きい
- ・日本語教師支援事業としてさらに充実させるために、つぎの理由によりサンパウロでの実施を提案する
  - 1) 中南米の中心都市である
  - 2) 本研修以外にも児童用日本語能力検定試験(子供テスト)を通じ協力可
  - 3) 教材、書籍の購入が可能

- 4) サンパウロ市の中心部に位置し、十分ではないが研修施設の整備
- 5) 日本語教師が多く、熱意を持って開催を支援
- 6) 現在、構築中のサイトを利用したネットワークの有効利用
- 7) 経費の削減化可能
- 8) サンパウロ市の参加者をオブザーバーとすることで他国の参加者増が可
- 9) 早くから十分な準備が行なえる

- ・非日系人が参加できない
- ・指導技術の向上に加えて、中南米の日本語教育の課題について討議を望む
- ・現行の期間は短い。1ヶ月ぐらいが良い。
- ・研修場所と宿泊場所が離れていると疲れるので、同一場所にしてほしい
- ・参加人数を増やしてほしい。ボリビアでも汎米研修を開催してほしい

## 2. 日本語教育分野における J I C A の協力について

- ・教材開発支援
- ・幼稚園に関して、図工、音楽、折り紙等の日本式情操教育を充実させたい
- ・日本語学校では、2世教師の養成、教材の作成が必要
- ・2、3世日本語教師の育成を念頭にブロック別ボランティア派遣の継続・充実を希望
- ・日本語能力を向上させるために日本語教育指導者およびボランティアの派遣
- ・母語がポ語である日本語教師養成システム

- ・日本語を外国語として学ぶ学習者のための適切な教材の指導および支援
- ・日系人に加えて非日系人日本語学習者の本邦研修受入れ
- ・シニアボランティア、青年ボランティア派遣と研修の充実

### 3.3 事業連携の望ましい在り方

- ・現地の日本語養成システムの中で、初期に汎米研修と短期日本語研修を、最終に長期日系研修を取入れるとシニアボランティアの連携が可能
- ・現地養成事業と日本の研修を価値付けして。日本、現地の大学などの公的機関の認定を受けられるようにする
- ・ボランティアによる現地教師の研修会、日本の専門家による汎米研修などの現地研修、それに本邦研修を三位一体化させれば、レベル認定を伴う一貫化した資質向上プログラムが可能である
- ・現地 日本 の研修は一方交通ではなく、現地において初心者教師対象の養成およびベテラン教師対象の養成を行ない、現地 日本 現地 日本 現地と いった形が効果的
- ・汎米研修は、日系、非日系教師および指導者が参加して、各地域の日本語教育方針を一致させて日本語指導の統一を図り、一つの教育プログラムを作成して実施するのが効果的
- ・ネットワークによる連携で、教師育成の現地講座や共通教材作成ができる。
- ・3事業の性質は違うが、つぎは共通するテーマなので研究してほしい
  - 1) 学校の雰囲気を作る研究・子供達が、日本語を学びたい、学校へ行きたくて自然に通学するような雰囲気作り

## 2) 環境を作る研究・授業を通じて友達との触れ合いで独特な感じを与える

- ・公開授業を行なって教師の向上を目指す
- ・汎米研修に際して、日本の講師とボランティアの結びつきを強くして、講師には地元の研修会にも参加して連携を取ってもらいたい
- ・汎米研修に参加した教師は、日系研修に優先的に参加させたい
- ・非日系にも門戸を広げてほしい

## 4. 3事業の連携は可能か / 3事業の連携を図ったことがあるか

- ・日系研修や汎米研修の参加実績があり、研修の参加者が教師を務めており、元青年ボランティアが現地で日本語教師として活躍している
- ・シニアボランティアは、日系研修員の選考に係わり、汎米研修では全面的に協力してもらえる
- ・汎米研修で取得した知識は、日系研修参加につながる活力になっている

## 5. その他

- ・ブラジルの日本語教育の主な対象は、幼児、児童で、2世、3世、混血、非日系も含まれる。
- ・日本的なテキストより現地に合ったテキストが子供の興味を引く。そのようなテキストが早急に必要
- ・非日系人に日本語を教えることができる教師が必要

- ・「5S」教育は家庭教育の中でも重要だと思う
- ・外国語としての日本語教育の意義を理解して日本語教師の有資格者や後継者指導ができる人が育成されるまで支援をお願いします